



慶應言語学 コロキウム

慶應義塾大学言語文化研究所
The Keio Institute of Cultural and Linguistic Studies

Zoom with a Minimalist View #1: Mamoru Saito's Work 2017-2020

今年度の拡大研究会では、日本語統語論を基盤とした生成文法理論研究を長く先導してきた、斎藤衛氏の最近の諸研究を、4回にわたってとりあげる。斎藤氏の研究は、自然言語の普遍的言語機能がいかなる働きをしているか、その具現化を日本語の根本的な統語的性質に見るといふ点で、一貫している。特に、近年のミニマリスト・プログラムの進展においても、常に日本語の言語事実を深く捉えながら、普遍文法に関わる重要な理論的貢献をなしてきた。例えば、斎藤氏の近年の研究では、日本語の格、活用、WH句、項省略/Nバー省略、A束縛などに見られる形態的・統語的・意味的性質から、ラベリング、転送領域、フェイズといった重要な理論的概念について、それらが普遍的にはどのようなものとして見通せるか、極めて重要な示唆を与えてくれている。第1回～第3回は斎藤氏の発表論文を2020年から2017年へと遡り理解を深める。第4回は斎藤氏によるセミナーを開催する。第1回～第3回で講師を務めるのは、石井透、大滝宏一、大宗純、小畑美貴、葛西宏信、北田伸一、小町将之、瀧田健介、中尾千鶴、中島崇法、永盛貴一、林慎将の各氏である。

[日時] 9/26, 10/17, 11/14, 12/5 各回 13:30～17:00

※日時は予定であり、変更が生じた場合は適宜ホームページで発表します。

[会場] オンライン開催 (Zoom 使用)

[定員] 25名 ※応募者が定員を超えた場合は、全4回参加できる方・大学院生の方を優先します。

[参加申込] genbu@icl.keio.ac.jp ※2020年9月14日(月) 申込締切

- ・氏名、所属、教員/院生/学部生と、全4回参加可能の有無を明記の上お申し込みください。
- ・参加申込についての注意事項詳細は、ホームページをご確認ください。
- ・申込者へは、事務局より別途オンライン開催情報を返信いたします。
- ・受講料無料
- ・各回で扱う論文は別途連絡しますが、申込者は事前にその論文に目を通してください。
- ・下記のサイトより斎藤衛氏が2001年～2020年に発表した論文をダウンロードできます。

http://www.ic.nanzan-u.ac.jp/LINGUISTICS/staff/saito_mamoru/index.html

共同企画：北原久嗣（慶應義塾大学）・内堀朝子（東京大学）

主催 慶應義塾大学言語文化研究所

[お問い合わせ先]

〒108-8345 港区三田2-15-45 慶應義塾大学言語文化研究所
電話：03-5427-1595 (事務室直通) メール：genbu@icl.keio.ac.jp
<http://www.icl.keio.ac.jp>